

中央公園第二期整備計画推進会議

設立趣意書

豊田市では、平成5年に「中央公園基本構想」を策定し、「水と緑に包まれた人と人との交流ステージ」を具現化するため、平成13年に中央公園第一期整備として豊田スタジアム等の建設を行い、現在に至っています。そして、第二期整備については、「第8次豊田市総合計画」に誰もが憩うことのできる快適な空間を創出するとともに、中心市街地や豊田スタジアムと連携して多世代が交流できる空間を創出することを目的に位置付けられています。

現在、本市中心部では平成28年に「都心環境計画」が策定され、目指すべき都心の将来の姿として「森と矢作川に育まれた祝祭・交流空間の創造」を掲げ、都心の賑わいづくりとして具体的に公共空間の活用（つかう）と再整備（つくる）が進められています。また、平成30年に「第3期中心市街地活性化基本計画」が策定され、まちなかにぎわい創出と公民連携による活性化を目標に総合的・効果的な事業を展開しています。さらに、平成29年に「新博物館基本構想」が策定され、豊田東高校跡地において「ふるさと力創造・発信拠点」の整備が示されています。

一方、本市中心部を流れる一級河川矢作川では平成30年に「矢作川かわまちづくり計画」が策定され、周辺のまちづくり計画や隣接する都心や豊田スタジアム等と連携した「交流拠点」の創出、豊かな自然環境に親しむ「水辺空間」の創出、多様な世代が多様なレクリエーションを楽しめる「憩いの空間」の創出を基本方針に掲げています。

このような都心部の機運の高まりを踏まえ、誰もが憩い、多世代が交流できる快適な空間を創出し、訪れたい魅力ある公園整備を目指す中で、中央公園の第二期整備計画を策定し、公園の活用及び整備に係る取組の推進を図ることを目的に、「中央公園第二期整備計画推進会議」を設立するものであります。